

■ドイツ：ドイツ鉄道、鉄道用電力として EWE 社の風力を使用

ドイツ鉄道 (DB) は 2011 年 11 月 1 日、ニーダーザクセン州を拠点とする自治体営の事業者 EWE と協力し、鉄道用電力として風力発電を使用すると発表した。DB は既にブレーメン州のメルキッシュリンデン、ブランデンブルク州のホーファーフレミングの二つの風力発電所から電力を調達しており、今回は EWE 社の保有するエルスドルフ第二発電所から年間約 3,000 万 kWh の電力を調達する。メルキッシュリンデンとホーファーフレミング発電所を含めると年間 1 億 400 万 kWh の風力発電電力が DB の鉄道用電力として供給される。DB は 1990 年以降鉄道運行に起因する CO₂ 排出量を抑制するという観点から再生可能エネルギー電力を積極的に調達する方針を採ってきた。同社は 2020 年までに CO₂ 排出量を 2006 年比 20%削減するとしており、鉄道用電力に占める再生可能エネルギー発電電力の割合を現状の 20%から 2020 年までに 35%まで拡大したいとしている。